

AIを用いた分流式下水の雨天時浸入水対策支援技術に関する実証事業

事業実施者

三菱電機(株)・(大)東京大学・(公財)愛知水と緑の公社・愛知県共同研究体

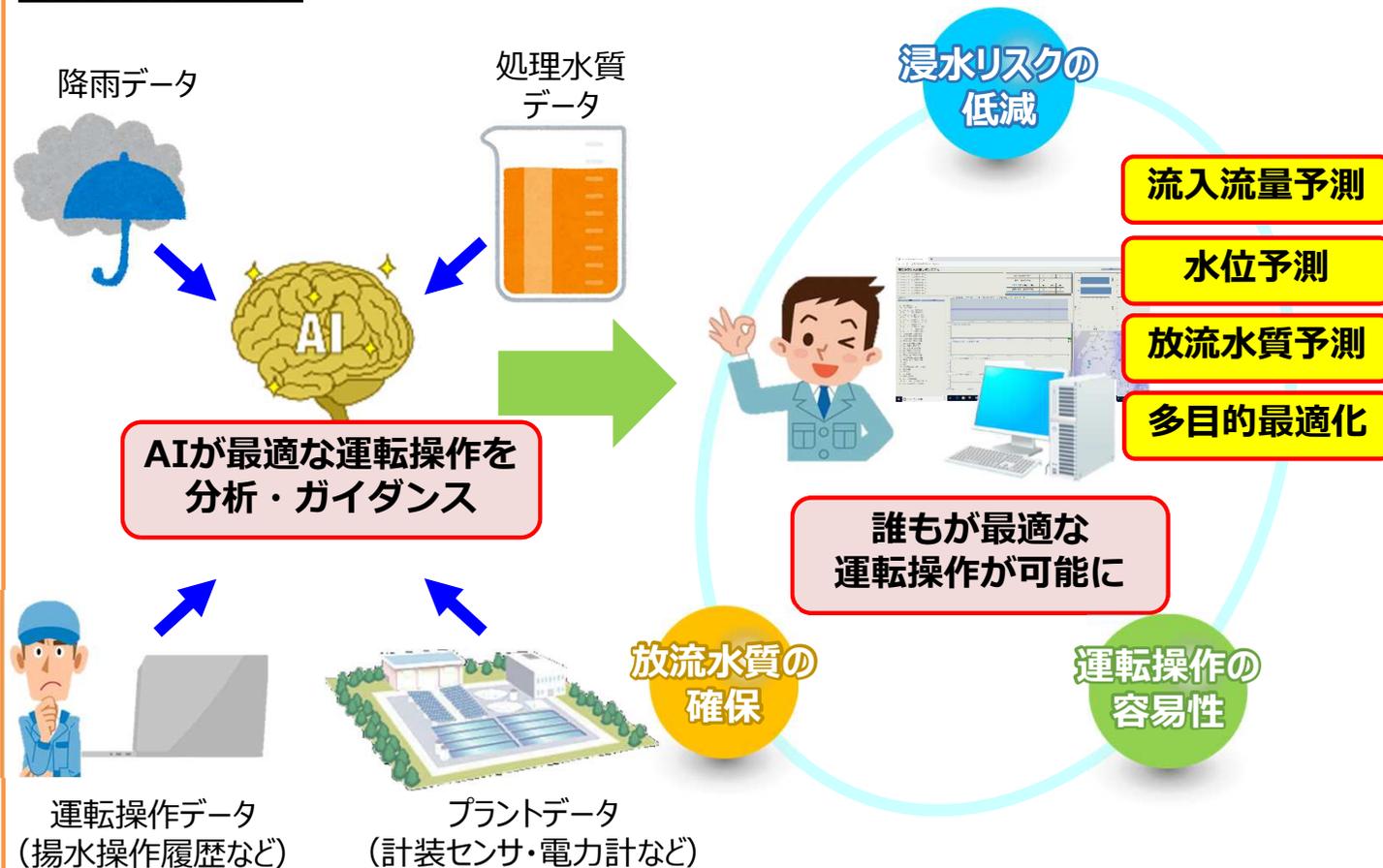
実証フィールド

愛知県衣浦西部浄化センター

実証概要

雨天時における分流式下水処理場の最適な運転操作実現に向け、雨天時浸入水の影響、下水処理場の運転状況、熟練技術者の運転操作データ等を学習したAIによる運転ガイダンスにより「浸水リスク低減」・「放流水質の確保」等が実現できることを実証する。

提案技術の概要



提案技術の革新性等の特徴

①熟練技術者の運転ノウハウの活用

- ・プラント監視システムに蓄積された運転操作履歴から熟練技術者の運転ノウハウ等をAIが学習、解析し最適な運転方法を提案。
- ・降雨に伴う浸水、溢水等のリスク低減、放流水質の確保等を達成。

②操作の容易性

- ・水位、水質、コストの予測値を出力し、必要な操作をガイダンスすることで、非熟練の操作員でも安心して運転操作が可能。